

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書の訂正報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第4項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成25年12月26日
【四半期会計期間】	第17期第1四半期（自平成23年4月1日至平成23年6月30日）
【会社名】	株式会社フォーバルテレコム
【英訳名】	FORVAL TELECOM, INC.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 谷井 剛
【本店の所在の場所】	東京都千代田区神田錦町三丁目26番地
【電話番号】	03(3233)1301
【事務連絡者氏名】	取締役 山本 忠幸
【最寄りの連絡場所】	東京都千代田区神田錦町三丁目26番地
【電話番号】	03(3233)1301
【事務連絡者氏名】	取締役 山本 忠幸
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

1【四半期報告書の訂正報告書の提出理由】

平成23年8月12日及び平成23年8月17日に提出した第17期第1四半期（自平成23年4月1日至平成23年6月30日）四半期報告書の記載事項の一部に訂正すべき事項がありましたので、これを訂正するため、四半期報告書の訂正報告書を提出するものであります。

なお、訂正後の四半期連結財務諸表につきましては、優成監査法人により四半期レビューを受けており、その四半期レビュー報告書を添付しております。

また、四半期連結財務諸表の記載内容にかかる訂正箇所についてはXBRLの修正も行いましたので、併せて修正後のXBRL形式のデータ一式（表示情報ファイルを含む）を提出いたします。

2【訂正事項】

第一部 企業情報

第1 企業の概況

1 主要な経営指標等の推移

第2 事業の状況

3 財政状態、経営成績の状況の分析

(1) 業績の状況

(2) 財政状態の分析

第4 経理の状況

2. 監査証明について

1 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

注記事項

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

(セグメント情報等)

セグメント情報

(1株当たり情報)

3【訂正箇所】

訂正箇所は_____線で示しております。

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

(訂正前)

回次	第16期 第1四半期連結 累計期間	第17期 第1四半期連結 累計期間	第16期
会計期間	自平成22年 4月1日 至平成22年 6月30日	自平成23年 4月1日 至平成23年 6月30日	自平成22年 4月1日 至平成23年 3月31日
売上高(千円)	3,409,786	3,294,180	13,560,475
経常利益(千円)	93,316	<u>46,245</u>	<u>391,631</u>
四半期(当期)純利益(千円)	33,320	<u>12,359</u>	<u>155,483</u>
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	29,513	<u>11,132</u>	<u>155,056</u>
純資産額(千円)	1,906,999	<u>1,796,696</u>	<u>1,919,110</u>
総資産額(千円)	6,189,162	<u>5,974,221</u>	<u>6,345,563</u>
1株当たり四半期(当期)純利益 金額(円)	199.61	<u>74.04</u>	<u>931.42</u>
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	30.7	<u>29.9</u>	<u>30.0</u>

中略

(注)4. 第16期第1四半期連結累計期間及び第16期の潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

後略

(訂正後)

回次	第16期 第1四半期連結 累計期間	第17期 第1四半期連結 累計期間	第16期
会計期間	自平成22年 4月1日 至平成22年 6月30日	自平成23年 4月1日 至平成23年 6月30日	自平成22年 4月1日 至平成23年 3月31日
売上高(千円)	3,409,786	3,294,180	13,560,475
経常利益(千円)	93,316	52,565	397,951
四半期純利益又は当期純損失 () (千円)	33,320	18,679	21,482
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	29,513	17,452	21,910
純資産額(千円)	1,906,999	1,626,050	1,742,143
総資産額(千円)	6,189,162	5,803,575	6,168,596
1株当たり四半期純利益金額又は 1株当たり当期純損失金額() (円)	199.61	111.90	128.69
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	30.7	27.8	28.0

中略

(注) 4 . 第16期第1四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため、また、16期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式は存在するものの1株当たり当期純損失金額であるため記載しておりません。

後略

第2【事業の状況】

3【財政状態、経営成績の状況の分析】

(訂正前)

(1) 業績の状況

前略

これらにより、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高が32億94百万円（前年同四半期比3.4%減）、営業利益が51百万円（前年同四半期比48.3%減）、経常利益が46百万円（前年同四半期比50.4%減）、四半期純利益が12百万円（前年同四半期比62.9%減）となりました。

中略

(2) 財政状態の分析

当第1四半期連結会計期間末における資産の残高は59億74百万円となり、前連結会計年度末比3億71百万円の減少となりました。これは主に、現金及び預金の減少（92百万円）及び受取手形及び売掛金の減少（2億4百万円）によるものであります。

中略

少数株主持分の残高は13百万円となりました。また、純資産の残高は17億96百万円となり、前連結会計年度末比1億22百万円の減少となりました。これは主に、当期純利益の計上及び剰余金の配当によるものであります。

(訂正後)

(1) 業績の状況

前略

これらにより、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高が32億94百万円（前年同四半期比3.4%減）、営業利益が58百万円（前年同四半期比42.0%減）、経常利益が52百万円（前年同四半期比43.7%減）、四半期純利益が18百万円（前年同四半期比43.9%減）となりました。

中略

(2) 財政状態の分析

当第1四半期連結会計期間末における資産の残高は58億3百万円となり、前連結会計年度末比3億65百万円の減少となりました。これは主に、現金及び預金の減少（92百万円）及び受取手形及び売掛金の減少（2億4百万円）によるものであります。

中略

少数株主持分の残高は13百万円となりました。また、純資産の残高は16億26百万円となり、前連結会計年度末比1億16百万円の減少となりました。これは主に、当期純利益の計上及び剰余金の配当によるものであります。

第4【経理の状況】

2. 監査証明について

(訂正前)

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、当第1四半期連結会計期間（平成23年4月1日から平成23年6月30日まで）及び当第1四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年6月30日まで）に係わる四半期連結財務諸表について優成監査法人による四半期レビューを受けております。

(訂正後)

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、当第1四半期連結会計期間（平成23年4月1日から平成23年6月30日まで）及び当第1四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年6月30日まで）に係わる四半期連結財務諸表について優成監査法人による四半期レビューを受けております。

また、金融商品取引法第24条の4の7第4項の規定に基づき、四半期報告書の訂正報告書を提出しておりますが、訂正後の四半期連結財務諸表については優成監査法人による四半期レビューを受け、改めて四半期レビュー報告書を受領しております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(訂正前)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
中略		
固定資産		
中略		
無形固定資産		
のれん	312,455	301,019
その他	179,695	168,939
無形固定資産合計	<u>492,150</u>	<u>469,958</u>
中略		
固定資産合計	<u>1,777,683</u>	<u>1,742,885</u>
中略		
資産合計	<u>6,345,563</u>	<u>5,974,221</u>
中略		
純資産の部		
株主資本		
資本金	542,354	542,354
資本剰余金	42,353	42,353
利益剰余金	1,323,189	1,202,003
株主資本合計	<u>1,907,897</u>	<u>1,786,711</u>
中略		
純資産合計	<u>1,919,110</u>	<u>1,796,696</u>
負債純資産合計	<u>6,345,563</u>	<u>5,974,221</u>

(訂正後)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
中略		
固定資産		
中略		
無形固定資産		
のれん	135,488	130,372
その他	179,695	168,939
無形固定資産合計	<u>315,183</u>	<u>299,312</u>
中略		
固定資産合計	<u>1,600,716</u>	<u>1,572,239</u>
中略		
資産合計	<u>6,168,596</u>	<u>5,803,575</u>
中略		
純資産の部		
株主資本		
資本金	542,354	542,354
資本剰余金	42,353	42,353
利益剰余金	1,146,223	1,031,356
株主資本合計	<u>1,730,931</u>	<u>1,616,064</u>
中略		
純資産合計	<u>1,742,143</u>	<u>1,626,050</u>
負債純資産合計	<u>6,168,596</u>	<u>5,803,575</u>

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第 1 四半期連結累計期間】

(訂正前)

(単位：千円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成22年 4 月 1 日 至 平成22年 6 月30日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 6 月30日)
売上高	3,409,786	3,294,180
売上原価	2,815,526	2,718,503
売上総利益	594,260	575,677
販売費及び一般管理費	493,992	523,807
営業利益	100,268	51,869
中略		
経常利益	93,316	46,245
中略		
税金等調整前四半期純利益	71,931	45,832
中略		
少数株主損益調整前四半期純利益	33,503	12,386
中略		
四半期純利益	33,320	12,359

(訂正後)

(単位：千円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成22年 4 月 1 日 至 平成22年 6 月30日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 6 月30日)
売上高	3,409,786	3,294,180
売上原価	2,815,526	2,718,503
売上総利益	594,260	575,677
販売費及び一般管理費	493,992	517,487
営業利益	100,268	58,189
中略		
経常利益	93,316	52,565
中略		
税金等調整前四半期純利益	71,931	52,152
中略		
少数株主損益調整前四半期純利益	33,503	18,706
中略		
四半期純利益	33,320	18,679

【四半期連結包括利益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(訂正前)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	33,503	12,386
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,989	1,254
その他の包括利益合計	3,989	1,254
四半期包括利益	29,513	11,132
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	29,406	11,107
少数株主に係る四半期包括利益	107	25

(訂正後)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	33,503	18,706
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,989	1,254
その他の包括利益合計	3,989	1,254
四半期包括利益	29,513	17,452
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	29,406	17,427
少数株主に係る四半期包括利益	107	25

【注記事項】

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

(訂正前)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び前第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
減価償却費	38,374千円	42,397千円
のれんの償却額	16,074	<u>11,435</u>

(訂正後)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び前第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
減価償却費	38,374千円	42,397千円
のれんの償却額	16,074	<u>5,115</u>

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

(訂正前)

前略

当第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)

中略

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	63,096
セグメント間取引消去	209
のれんの償却額	11,435
四半期連結損益計算書の営業利益	<u>51,869</u>

(訂正後)

前略

当第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)

中略

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	63,096
セグメント間取引消去	209
のれんの償却額	<u>5,115</u>
四半期連結損益計算書の営業利益	<u>58,189</u>

(1株当たり情報)

(訂正前)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
1株当たり四半期純利益金額(円)	199.61	74.04
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	33,320	12,359
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	33,320	12,359
普通株式の期中平均株式数(株)	166,932	166,932

後略

(訂正後)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
1株当たり四半期純利益金額(円)	199.61	111.90
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	33,320	18,679
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	33,320	18,679
普通株式の期中平均株式数(株)	166,932	166,932

後略

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年12月25日

株式会社フォーバルテレコム

取締役会 御 中

優成監査法人

指定社員 公認会計士 須永 真樹
業務執行社員

指定社員 公認会計士 小松 亮一
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社フォーバルテレコムの平成23年4月1日から平成24年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成23年4月1日から平成23年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年6月30日まで）に係る訂正後の四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社フォーバルテレコム及び連結子会社の平成23年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

その他の事項

四半期報告書の訂正報告書の提出理由に記載されているとおり、会社は、四半期連結財務諸表を訂正している。なお、当監査法人は、訂正前の四半期連結財務諸表に対して平成23年8月9日に四半期レビュー報告書を提出した。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記は、監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が連結財務諸表に添付する形で別途保管しております。

2. 連結財務諸表の範囲にはX B R Lデータ自体は含まれていません。